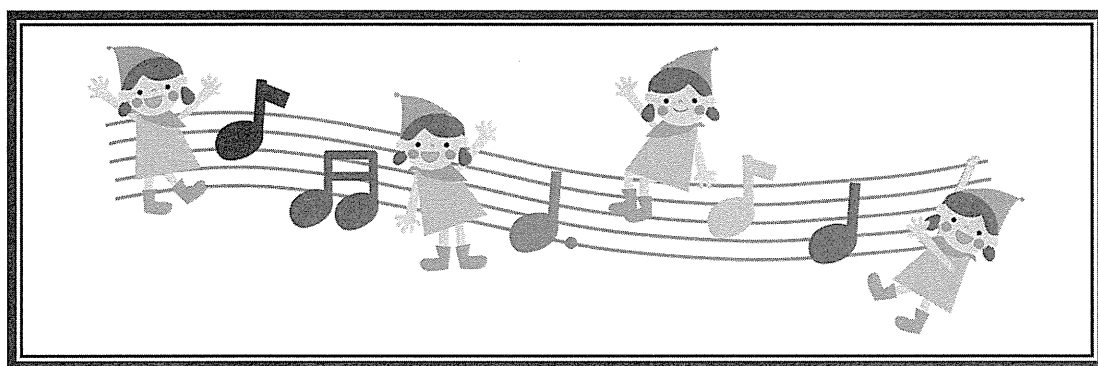


小児在宅支援に関わる多職種合同セミナー

～ 医療と福祉の協働で暮らしを支える ～



平成 25 年 11 月 16 日(土)11:45～19:35

17 日(日) 9:00～17:40

於 国際ファッションセンター

本研修会は、平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業(身体・知的等障害分野))「医療依存度の高い小児及び若年成人の重度心身障がい者への在宅医療における訪問看護師、理学療法士、訪問介護員の標準的支援技術の確立とその育成プログラムの作成のための研究」(研究代表者 前田浩利)の一環として開催致します。

目次

- はじめに
- セミナープログラム
- セミナー開催にあたって
- 研究協力をお願い
- セミナー資料 1日目
- セミナー資料 2日目
- 参考資料

はじめに

研究代表者 前田浩利

皆様、お忙しい中、本多職種合同セミナーにご参加くださりまことにありがとうございます。

本セミナーは、平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業(身体・知的等障害分野))「医療依存度の高い小児及び若年成人の重度心身障がい者への在宅医療における訪問看護師、理学療法士、訪問介護員の標準的支援技術の確立とその育成プログラムの作成のための研究」の一環として開催されます。

皆様が、日々の現場で感じておられるように、医療依存度の高い子どもたちが、今、急速に増えています。そして、そのような子どもたちを地域、家庭でどう支えていくのかは、我が国の小児医療、福祉の根幹にかかわる課題になっています。私たちは、平成 23 年度から、医療依存度の高い子どもたちを地域、家庭で支える小児在宅医療の人材育成のための研究に、文字通り多職種協働で取り組んで参りました。

私どもの研究班は、医師、看護師、リハビリセラピスト、ヘルパーの 4 つの部会で構成され、それぞれの部会のみでなく、全体でも議論、検討を重ねてきました。その内容は、小児在宅医療の対象、ニーズから、制度、成人在宅医療との繋がりまで多岐にわたり、議論自体が、様々な発見や驚き、感動に溢れたものになりました。

そのような検討を経て、私たちが辿りついたのは、多職種連携の重要性と意義の再発見とも言えるものでした。同時に、現状では、医療と福祉は、全く異なる文化、制度によって動いていて、協働、多職種連携いかに難しいかということを感じることにもなりました。

では、医療と福祉が協働して、多職種連携を実現するためにはどうしたらよいか、その具体的な方法論を今回のセミナーのプログラムの中で追求してみました。したがって、通常の講義形式だけではない、チャレンジングな内容も含まれています。

また、医師、看護師、リハビリ、ヘルパーの各部会が、屋台のようにそれぞれの部会でのこれまでの成果をレクチャーとして提示し、それを職種にかかわらず、自由に聴いていただくプログラムも用意しています。

是非、アンケートを通して、皆様の忌憚のないご意見をいただき、このセミナーを更に良いものにしていきたいと思います。

このセミナーが皆様にとって、少しでも役に立つもの、普段の現場の課題を解決し、新たな創造につながるものとなることを心より願ってご挨拶に代えさせていただきます。

セミナープログラム

<11月16日土曜日・1日目>

時間		講義	講師
11:45～		受付開始	
12:20～12:30	10分	ガイダンス	前田浩利
12:30～12:40	10分	事前アンケート	
12:40～13:00	20分	小児在宅医療の現状と 多職種連携の意義と理念	前田浩利
13:00～13:40	40分	家族看護、家族ケア	奈良間美保
13:40～13:50	10分	休憩	
13:50～14:50	60分	子どもの健康生活	西海真理
14:50～15:00	10分	休憩	
15:00～16:10	70分	小児在宅医療を支える制度 ～0歳から50歳までを支える～	宮田章子・高橋昭彦・梶原厚子・戸枝陽基
16:10～16:20	10分	休憩	
16:20～17:30	70分	子どもの病態と育ちの支援 1 ①筋緊張が高く思春期になり、二次的な問題が出てき子ども ②体が柔らかく人工呼吸器を装着して普通小学校に通学している子ども	宮田章子・高橋昭彦・梶原厚子・戸枝陽基
17:30～17:40	10分	休憩	
17:40～19:25	105分	子どもの病態と育ちの支援 2 ③動けるが内部障害があり行動制限のある子ども ④予後不良の染色体異常の子ども ⑤がんの子どものend of life care	宮田章子・高橋昭彦・梶原厚子・戸枝陽基
19:25～19:35	10分	ガイダンス	前田浩利
20:00～21:30	90分	懇親会	

<11月17日 日曜日・2日目>

時間		講義	会場と講師			
8:45~		開場、受付				
			第1会場（ホール） ヘルパー部会	第1会場（ホール） 看護部会	第2会場（100会議室） 医師部会	第3会場（109会議室） リハ部会
9:00~9:45	45分	屋台プログラム①	楽ちん、簡単に、 在宅を過ごすために （関根まき子）	子どものスキントラブルと スキンケア （作田香織）	NICU医療の現状 （側島久典）	重症児における健康を維持 するための 身体の仕組みと運動 ～理学療法からの視点～ （平井孝明）
9:45~9:55	10分	休憩				
9:55~10:40	45分	屋台プログラム②	暮らすために ～居宅介護（ホームヘルプ） の実際～ （李国本修慈）	訪問看護の仕組み （梶原厚子）	看取りと痛みの緩和 （前田浩利）	重症児の認知、遊び、コミュニ ケーション （岸本光夫）
10:40~10:50	10分	休憩				
10:50~11:35	45分	屋台プログラム③	つぶれないために ～介護事業所の運営・ 地域連携マネジメント～ （戸枝陽基）	育ちへの支援 ～子どもたちは 何を感じているのかな～ （梶原厚子）	医療デバイス概論と実技① 気管カニューレの交換 （島津智之・高田栄子）	呼吸リハビリテーション （緒方健一、他）
11:35~11:45	10分	休憩				
11:45~12:30	45分	屋台プログラム④	寄り添うために ～相談支援の実際～ （西村幸）		医療デバイス概論と実技② 胃ろうボタンの交換 （島津智之・高田栄子）	呼吸リハビリテーション実技 （平井孝明、他）
12:30~12:40	10分	休憩				
12:40~13:25	10分	屋台プログラム⑤	生きるために ～利用者の人生と看取りにヘル パーがどうかかわったか～ （関根まき子）	食べることの育ちを支える ～試食あります～ （西海真理）	急変時の対応 （近藤陽一）	姿勢保持を助ける道具 （中川尚子）

時間	講義	講師
13:25~13:45	レイアウト変更	
13:45~14:30	昼食休憩	
14:30~14:35	お母さんの紹介	恒川幸子
14:35~15:05	ご家族からのお話	在宅生活されている お子さんのお母様
15:05~15:15	質疑応答	
15:15~15:25	休憩	
15:25~15:35	ガイダンス	側島久典・小沢浩
15:35~16:05	退院調整会議の ロールプレイ	研究班スタッフ
16:05~16:20	模擬ケース紹介	前田浩利
16:20~17:05	ワークショップ	
17:05~17:15	発表	
17:15~17:30	解説	梶原厚子
17:30~17:40	総括	前田浩利

セミナー開催にあたって

皆様、本日はお忙しい中、「小児在宅支援に関わる多職種合同セミナー」にご参加いただきありがとうございます。セミナー開催にあたり内容の確認および注意事項についてお知らせいたします。

- このセミナーは厚生労働省科学研究の一環として行われております。次頁「研究協力のお願い」をよくお読みになり、同意書に必要事項を記載してください。同意書は、セミナー1日目終了後に提出してください。
- セミナーではアンケートを行い、内容や効果について検証します。アンケートは事前アンケート、1日目アンケート、2日目アンケート、事後アンケートです。
- 懇親会について、1日目・11/16（土）のセミナー終了後に同じ会場にて開催します（20：00～21：30）。懇親会参加はチケット制になっていますので、参加希望の方はチケットをお持ちになり、会費をお支払いになった後に再入場してください。
- 2日目・11/17（日）の午前は、本研究班の各部会より講義や実技指導を行います。参加者の方は職種に関わらず、どのセッションに参加していただいても結構です。会場および内容の詳細についてはテキストをご覧ください。
- 2日目・11/17（日）の午後は、参加者全員が再び同じ会場に集まり、多職種連携の実践を行います。午前のプログラム終了後、会場内レイアウト変更のため、一度室外へ退出していただきます。レイアウト変更後は会場内で昼食をとっていただいて結構です。
- 昼食はホール内にてとってください。ラウンジは飲食禁止となっています。近隣のコンビニエンスストアや食堂一覧も併載しましたのでご参照ください。館外でとられる場合は午後の開催時間に遅れないように注意してください。
- トイレは原則的に2F、3F、10Fを使用してください。喫煙される方は1F、10Fの喫煙室をご利用ください。
- クロークは1日目は10Fの105会議室（11：30～20：00）、2日目は10Fの104会議室（8：30～18：00）となっていますのでご利用ください。
- 名札ケースはセミナー終了後に返却してください。
- 地震等の災害が起こった場合はスタッフが避難の指示・誘導を行いますので、あわてずに行動してください。

以上、何かご不明な点がありましたらスタッフに遠慮なくお声かけください。

参加者の皆様

研究協力をお願い

このセミナーは平成23年4月より厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）を受けている、「医療依存度の高い小児及び若年成人の重度心身障がい者への在宅利用における訪問看護師、理学療法士、訪問介護員の標準的支援技術の確立とその育成プログラムの作成のための研究」という研究テーマの一環として行われています。

我が国では、医療の進歩に伴って人工呼吸器等の医療機器を使用しながら在宅で生活する重度心身障がい児が急速に増加しています。そのような子どもと家族の生活を支える上では、医療的な支援だけではなく、生活を支える仕組みや制度を知り、なおかつ医師、看護師、リハビリセラピスト、介護職などが連携・協働していくことが必要になります。

今回のセミナーでは、小児在宅支援のための基本的な知識・技術について学んでいただき、各職種からの専門的な講義の聴講や多職種連携の実践も行っていただきます。また同時に皆様からの意見をもとに、今後の小児在宅支援のあり方を検討していくことも目的としています。つきましては、より良い研修プログラムへと精練させていくために、当セミナーへの参加と評価についてご協力をお願いいたします。ご協力をお願いしたいことは、下記の4点です。

- ① 研修中の講義、実技、討論の録音・録画
- ② 写真撮影
- ③ 事前・事後アンケートの利用
- ④ 研修評価アンケートの利用

録音については文字として起こして内容を分析します。録画内容やアンケート結果をまとめて報告書を作成し、今後の人材育成、あるいは教育資料とさせていただく場合があります。記載していただいた個人情報については厳重に管理し、個人が特定されないように配慮します。

以上、本セミナーの目的をご理解いただき、同意書へのご署名をお願いいたします。不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

<連絡窓口>

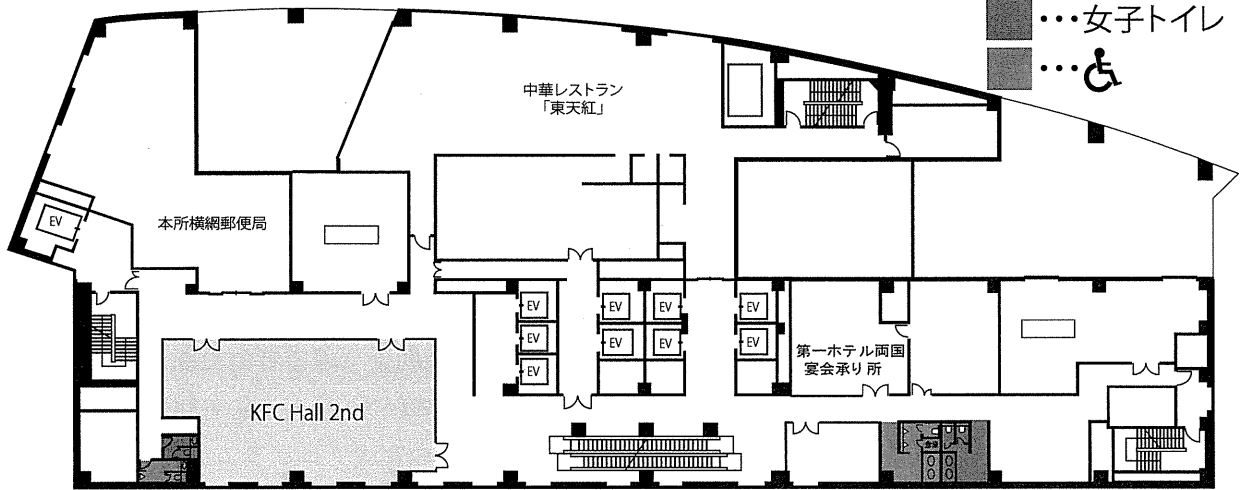
あおぞら診療所新松戸 院長 前田浩利

TEL:047-309-7200 FAX:047-309-7211

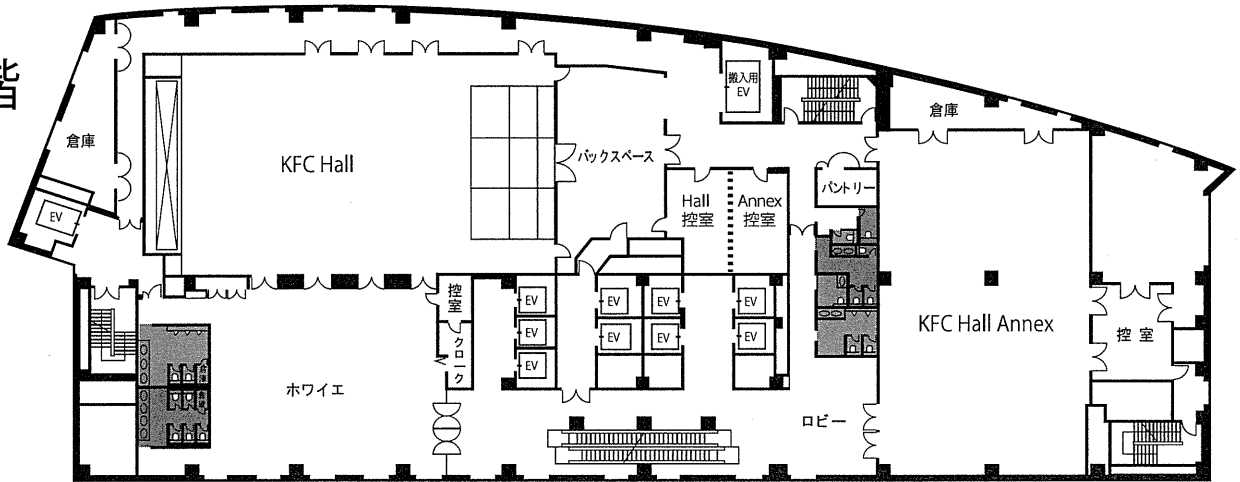
E-MAIL:maeda@harutaka-aozora.org

2階

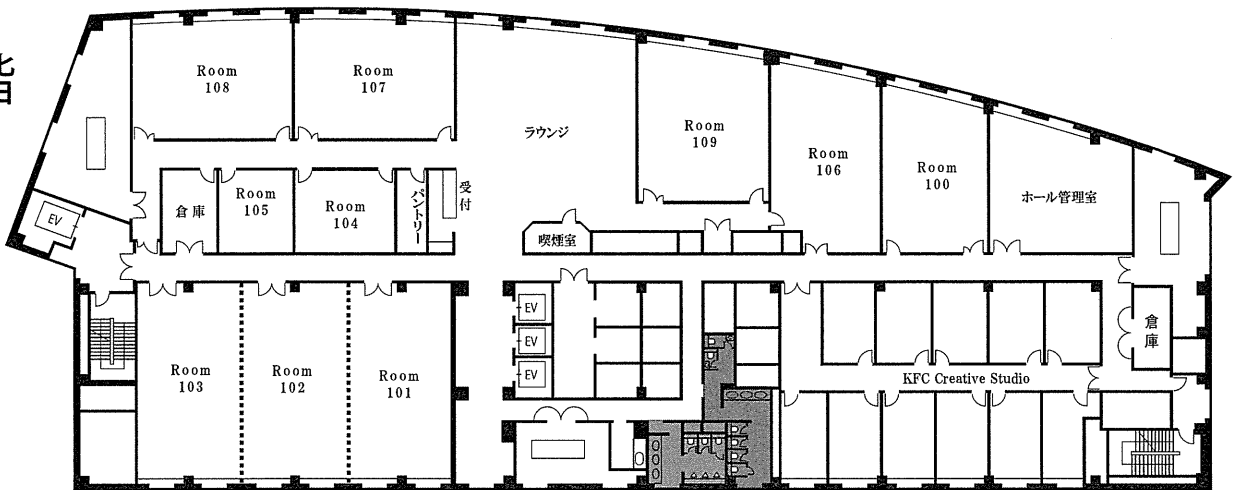
- ・・・男子トイレ
- ・・・女子トイレ
- ・・・♿



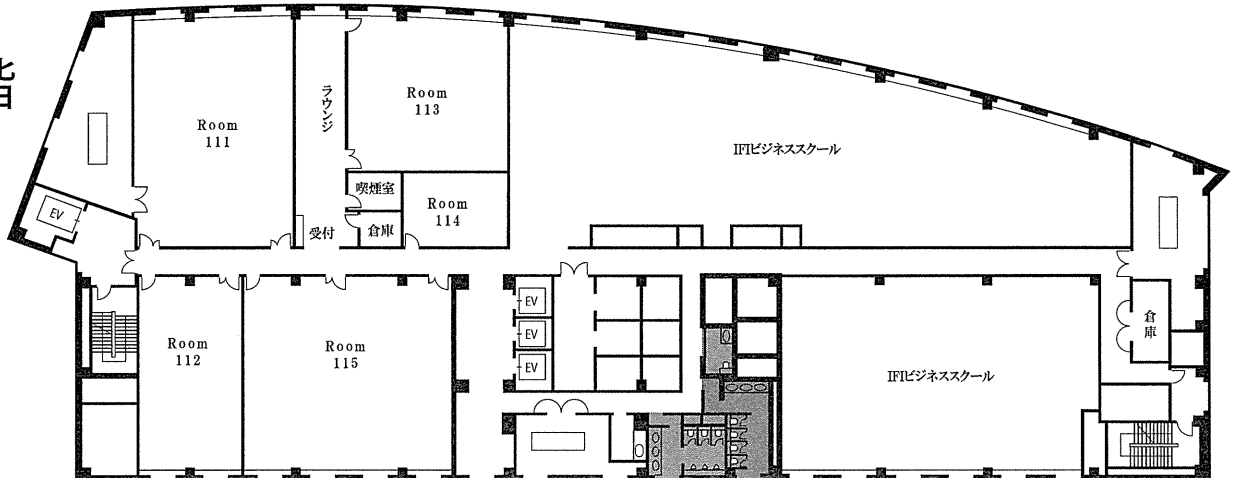
3階



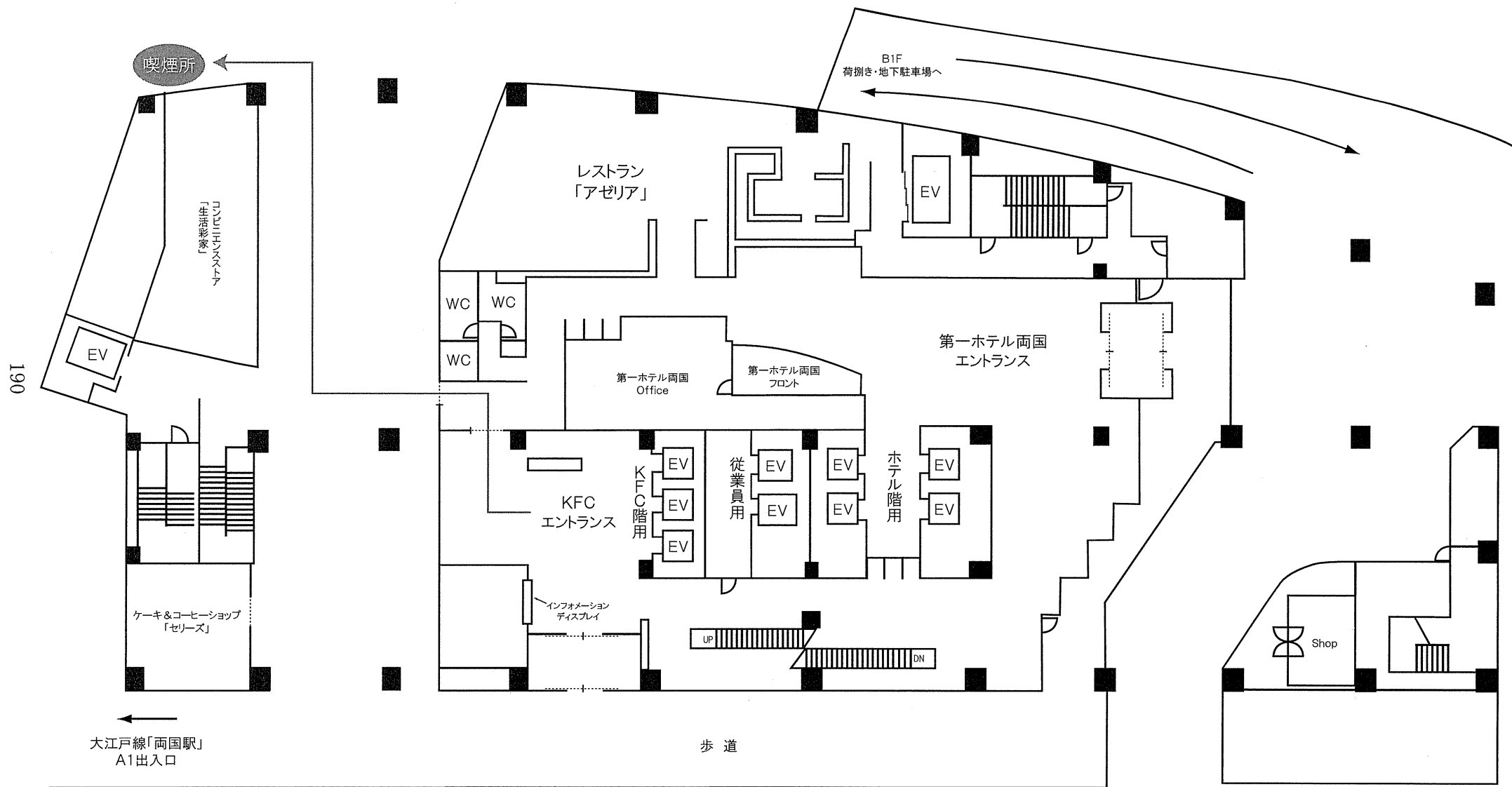
10階



11階



1階 見取図



清 澄 通 り

両国お食事マップ

- お昼OK
- 夜のみ

- 土もOK
- 土日もOK

横網町公園

KFCビル
 1Fアゼリア(洋)
 2F東天紅(中)
 25Fさくら(和)

**江戸東京
 博物館**

国技館

ステーキに

西口
両国駅

JR総武線

両国橋通り

北斎通り

蔵前橋通り

京葉道路

- マクドナルド
- 霧島 (ちゃんこ)
- ホテルベルグランデ
- 1Fカフェローザ
- 2F楊貴妃(中華)
- 2Fさくら亭(和食)
- アレグレッツァ (イタリアン)

- ポパイ (ランチあり)
- 回転すし
- 吉良亭(パスタ)
- やよい軒(定食)
- モスバーガー
- 元気亭(自然食レストラン)
- ちゃんこ江戸沢(ランチあり)
- さかな道楽(居酒屋・ランチあり)
- 文殊そば 玄品ふぐ
- 日本海(居酒屋・ランチあり)
- なくら水産(居酒屋・ランチあり)
- ちゃんこ江戸沢(居酒屋・ランチあり)
- 元(そば)
- 花の舞(居酒屋・ランチあり)
- さかなや道場(居酒屋・ランチあり)

- かきや(本格生蕎麦)
- 佐渡鮎(居酒屋・ランチあり)
- 漁火 (居酒屋・ランチあり)
- サンエトワール(パン屋)
- ちゃんこ道場(居酒屋・ランチあり)
- 魚菜や両国(居酒屋・ランチあり)
- 胡坐 (つけめん)
- らーめん やっこ
- 金華 (中華)
- 宋の百味亭(焼肉)

- ほそ川(江戸蕎麦)
- 天亀八(てんぷら)
- さかなや道場(居酒屋・ランチあり)
- 美うら(居酒屋・ランチあり)
- ごんろく(つけ麺)
- キッチンベル(喫茶)
- 千代福(うなぎ)
- 吉野家(牛丼)

- 浪花家本店
- ASIAN光(アジア)
- かつ万(とんかつ)
- 本所かえる本舗
- キッチンkokoro
- 寺尾(相撲茶屋・ランチあり)
- 巨牛荘(焼肉)
- 茂ル本(イタリアン)

- オールデイズ(イタリアン)
- カプリチオーザ(イタリアン)
- ※両国シティーコア2F

- オリジン弁当

両国MAP

RYOGOKU
にぎわいMAP

the Bustling Ryogoku Area
発行：企画・制作／両国地区協会
マップ情報は、2013年1月現在のものです。

国技館 Kokugikan

国技館 相撲博物館 (国技館)
Sumo Museum (Kokugikan)
年6回の原素類えにより錦絵や番付、化装廻しなど多彩な資料を展示。
入館無料 (東京場所中は国技館入場者のみ入館可)
横綱1-28 33623.0366 休館日/土・日・祝
大相撲東京場所/1・5・9月

水上バス
東京水辺ライン
両国発着場
Water-bus
Tokyo Mizube Cruising Line Ryogoku Sta.
輪渡 全隻田舎
国技館北
舟橋聖一
生誕の地
東京水辺ライン
両国発着場

両国駅 JR Ryogoku Sta.
JR 両国駅 両国駅
両国駅西口
両国駅東口
両国駅南口
両国駅北口

回向院 Eko-in Temple
回向院
鼠小僧次郎吉の墓
井筒部屋
出羽部屋
黒島山神社
マリス洋菓子店

- ① ちゃんこ Chariko-yaki (Traditional Meal of Sumo Wrestlers) 相撲料理 巻(40名)
- ② 日本料理 (割烹・寿司・焼・そば・うどん) Japanese Foods (Kappo, Sushi, Udon, Sobu, Udon) 日本菜・割烹・寿司・焼・そば・うどん 割烹(20名)、寿司(20名)、焼(20名)、そば(20名)、うどん(20名)
- ③ 一居酒屋・小料理 Japanese Style Pub, Bistro 居酒屋、小料理、そば、うどん、焼、そば
- ④ ①~② 一お土産・ショップ、お弁当 Souvenirs, Shops, Packed Lunches 土産、食品、焼、そば、うどん
- ⑤ ①~② 相撲グッズ Sumo Goods Shops 相撲グッズ、焼、そば
- ⑥ ①~② ひと休みスポット Rest Spots 焼、そば
- ⑦ 相撲部屋 Sumo-beya (Sumo Stables) 相撲部屋、焼、そば

江戸東京博物館 Edo-Tokyo Museum

江戸東京博物館 江戸400年の歴史と文化をめぐる。
横綱1-4-1 ☎3626-9974(代)
開館時/9:30~17:30(土曜日は19:30まで)
(入館は開館の30分前まで)
休館日/月曜日 年末年始
(月曜日が祭日・振替休日の場合翌日)
※ショップレストランはチケットなしでも利用可。

旧安田庭園 Former Yasuda Garden

旧安田庭園 江戸の大名邸
NTTドコモ歴史展示スクエア
新藤ギャラリー

横網町公園 Yokoami-cho Park

横網町公園 江戸の大名邸
東京都慰霊堂
第一ホテル両国
大東京医学技術専門学校
大 両国中学校
両国国民プール
両国小学校
両国幼稚園

両国小出 界の初
世界初の両国
在りし江戸
90年の歴史
身も心も
同じで数多
く名作を
残し

生誕の地
大 二葉小学校

両国小出 界の初
世界初の両国
在りし江戸
90年の歴史
身も心も
同じで数多
く名作を
残し

生誕の地
大 二葉小学校

両国小出 界の初
世界初の両国
在りし江戸
90年の歴史
身も心も
同じで数多
く名作を
残し

生誕の地
大 二葉小学校

両国小出 界の初
世界初の両国
在りし江戸
90年の歴史
身も心も
同じで数多
く名作を
残し

生誕の地
大 二葉小学校

両国小出 界の初
世界初の両国
在りし江戸
90年の歴史
身も心も
同じで数多
く名作を
残し

生誕の地
大 二葉小学校

きみだ白景きまぐん・きみりちやん

① 両国駅西口 JR 両国駅西口
② 両国駅東口 JR 両国駅東口
③ 両国駅南口 JR 両国駅南口
④ 両国駅北口 JR 両国駅北口

路線	発	着	乗車料			
丸の内線	06:51	07:06	11:21	13:36	15:51	18:06
	07:06	07:21	11:36	13:51	16:06	18:21
	07:21	07:36	11:51	14:06	16:21	18:36
	07:36	07:51	12:06	14:21	16:36	18:51
丸の内線	07:51	10:06	12:21	14:36	16:51	19:06
	08:06	10:21	12:36	14:51	17:06	19:21
	08:21	10:36	12:51	15:06	17:21	19:36
	08:36	10:51	13:06	15:21	17:36	19:51
丸の内線	08:51	11:06	13:21	15:36	17:51	20:06
	09:06	11:21	13:36	15:51	18:06	20:21
	09:21	11:36	13:51	16:06	18:21	20:36
	09:36	11:51	14:06	16:21	18:36	20:51

セミナー資料

1 日目

11/16(土)

小児在宅医療の現状と
多職種連携の意義と理念

前田浩利

小児在宅医療の現状と多職種連携の意義と理念

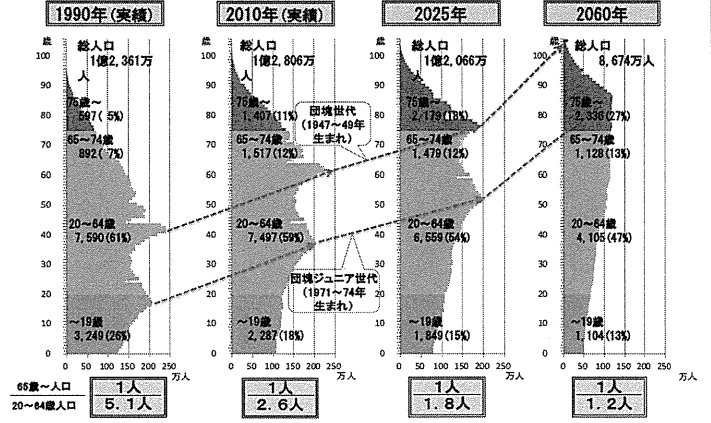
子ども在宅クリニック あおぞら診療所墨田

前田浩利

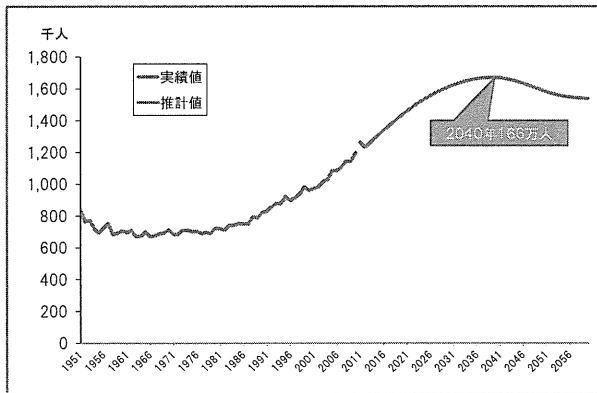
2013年11月16日

人口ピラミッドの変化(1990~2060年)

○日本の人口構造の変化を見ると、現在1人の高齢者を2.6人で支えている社会構造になっており、少子高齢化が一層進行する2060年には1人の高齢者を1.2人で支える社会構造になると想定



死亡者数の推移

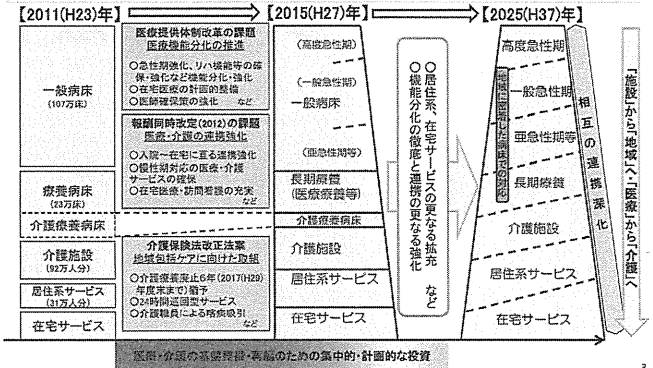


資料:1951~2010年までは厚生労働省統計情報部「人口動態統計」による。1947~72年は沖縄県を含まない。2011年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」「(中位推計)」による。

将来像に向けての医療・介護機能再編の方向性イメージ

○病院・病床機能の役割分担を通じてより効果的・効率的な提供体制を構築するため、「高度急性期」、「一般急性期」、「亜急性期」など、ニーズに合わせた機能分化・集約化と連携強化を図る。併せて、地域の実情に応じて幅広い医療を担う機能も含めて、新たな体制を段階的に構築する。医療機能の分化・強化と効率化の推進によって、高齢化に伴い増大するニーズに対応しつつ、既存の病床数レベルの下でより高度な体制構築を目指す。

○医療ニーズの状況等により、医療・介護サービスの適切な機能分担をするとともに、居住系、在宅サービスを実施する。



子どもの死亡数の減少

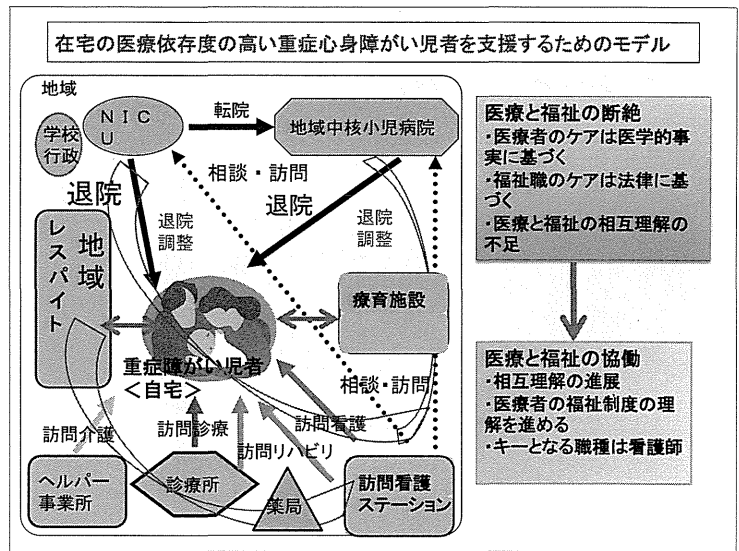
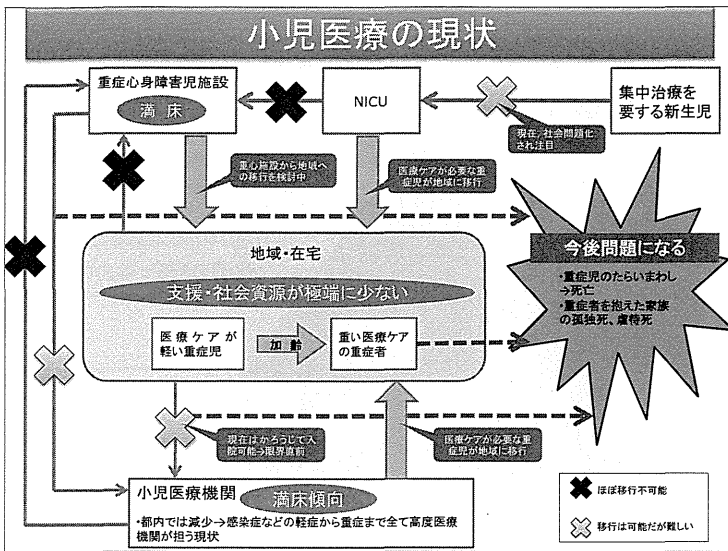
	0歳~19歳までの死亡者数
昭和60年 (1985年)	18,488人
平成13年 (2001年)	8,069人
平成22年 (2010年)	5,836人

超重症児・準超重症児の数

北住映二先生(一部改変)

- 施設、病床
 - ①公法人立重症心身障害児(者)施設(全国で122施設)
長期入所児者(約12000名)の中で(平成20年度調査)
超重症・準超重症児者 2290名(うち超重症 1054名)
 - ②国立病院機構重症心身障害児者病棟(全国で73施設、7430床)
長期入所児者(名)の中で(平成19年データ)
超重症児者 647名 準超重症児者 774名 計 1421名
- ①+② → 長期入所(小児~成人) 3711名
2. 小児科学会調査(杉本先生ら) 8府県、20歳未満での調査からの推計
20歳未満で、入院、入所、在宅の、超重症・準超重症児 全国で約7350名
そのうち約70% 5000名弱が在宅と推計
3. 小沢浩先生(島田療育センター八王子)らの網羅的な共同調査 平成20年
東京多摩地区(人口約420万人)の施設・病院受診の、在宅の超重症・準超重症児者数(小児~成人) 264名
これを単純計算すると、全国で在宅の超重症・準超重症児者数は

$$264 \times (12億2790万 / 420万) = 8000人$$



重症障がい児地域支援に関わる職種

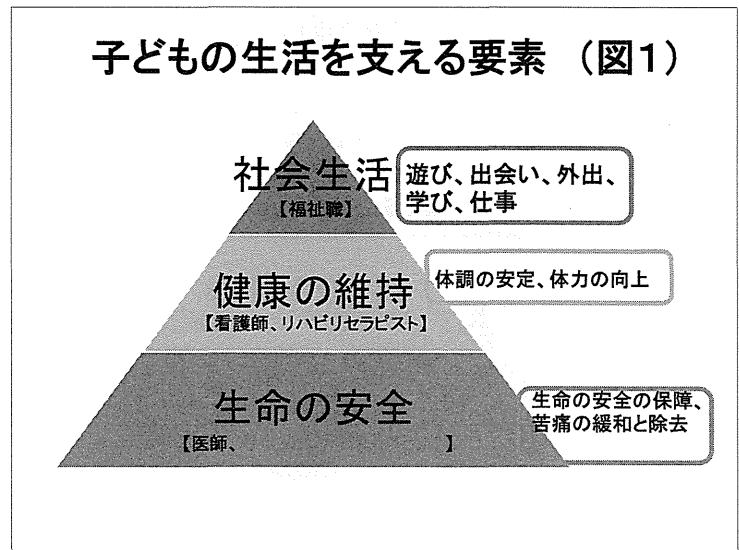
	地域	病院	ショートステイ施設 日中預かり施設
医師 歯科医師 薬剤師 看護師	往診医・近隣開業医 訪問歯科医師 地域薬剤師	外来医師・病棟医師 病院歯科医師 病院薬剤師	担当医師
リハビリセラピスト	訪問リハ	通院リハ	施設セラピスト 通所リハ
ヘルパー	訪問ヘルパー		介護職
ケースワーカー	診療所ソーシャルワーカー 相談支援専門員	病院ソーシャルワーカー	施設ソーシャルワーカー
教育者	特別支援学校の教員		
行政	障害福祉課、保健師		

重症障がい児地域支援に関わる職種(現状)

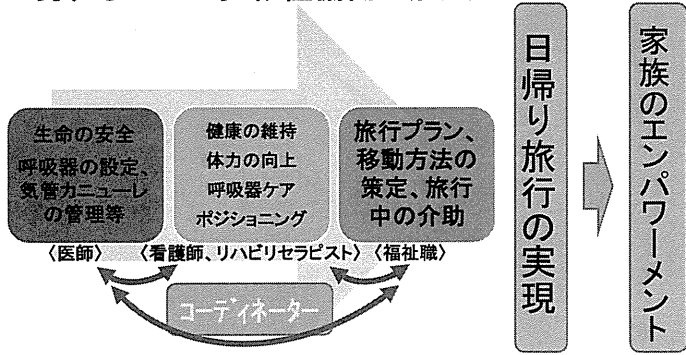
	地域	病院	ショートステイ施設
医師 歯科医師 薬剤師 看護師	往診医・近隣開業医 訪問歯科医師 地域薬剤師	外来医師・病棟医師 病院歯科医師 病院薬剤師	担当医師
リハビリセラピスト	訪問リハ	通院リハ	施設セラピスト
ヘルパー	訪問ヘルパー		介護職
ケースワーカー	診療所ソーシャルワーカー 相談支援専門員	病院ソーシャルワーカー	施設ソーシャルワーカー
教育者	特別支援学校の教員		
行政	障害福祉課、保健師		

高齢者の地域支援に関わる職種

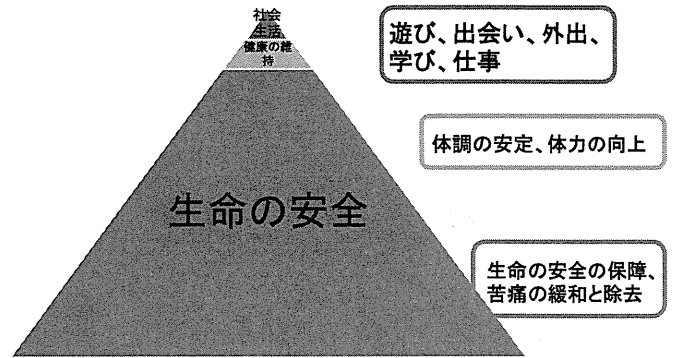
	地域	病院	レスパイト施設
医師 歯科医師 薬剤師 看護師	往診医・近隣開業医 訪問歯科医師 地域薬剤師	外来医師・病棟医師 病院歯科医師 病院薬剤師	担当医師 看護師(介護職)
リハビリセラピスト	訪問リハ	通院リハ 通所リハ	
ヘルパー	訪問ヘルパー		
ケースワーカー	ケアマネージャー	病院ソーシャルワーカー	
教育者	特別支援学校の教員		
行政	障害福祉課、保健師		



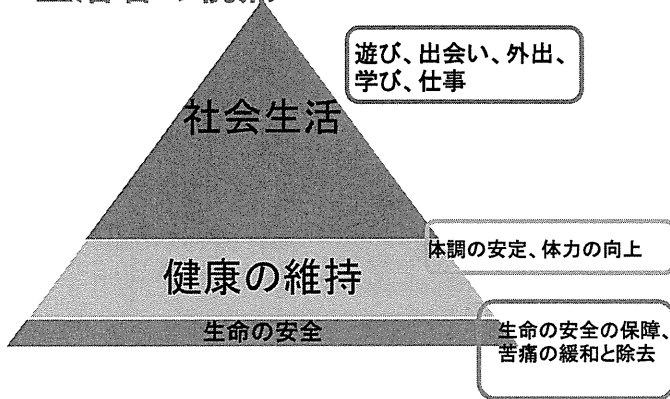
人工呼吸器をつけた子どもの日帰り旅行を実現するための多職種協働（図2）



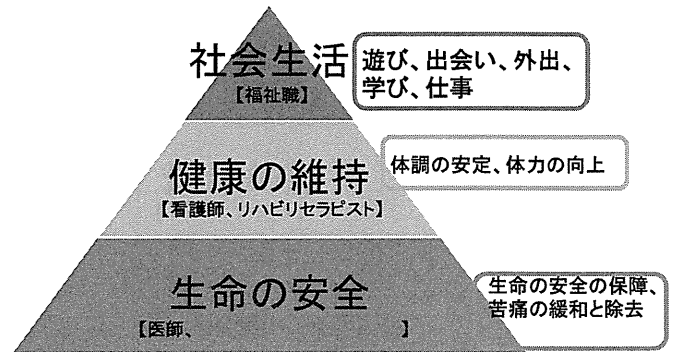
在宅患者の生活を支える要素 医療者の視点



在宅患者の生活を支える要素 生活者の視点



子どもの生活を支える要素（図1）



小児等在宅医療連携拠点事業 25年度予算 1.7億円

目的

- NICUで長期の療養を要した児を始めとする在宅医療を必要とする小児等が、在宅において必要な医療・福祉サービス等が提供され、地域で安心して療養できるよう、福祉や教育なども連携し、地域で在宅療養を支える体制を構築する。

事業内容

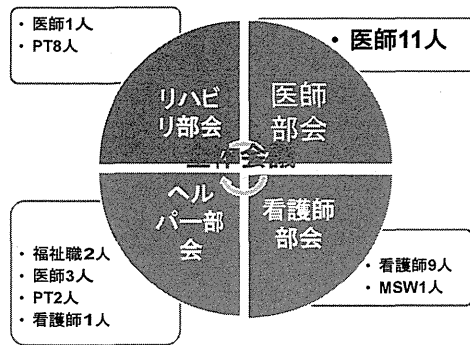
- 以下の活動等を通して地域における包括かつ継続的な在宅医療を提供するための体制を構築する。
 - ① 行政、地域の医療・福祉関係者等による協議の場を定期的に開催し、小児等の在宅医療における連携上の課題の抽出及びその対応方針を策定する
 - ② 地域の医療・福祉資源を把握し、整理した情報の活用を検討する
 - ③ 小児等の在宅医療に関する研修の実施等により小児等の在宅医療の受入が可能な医療機関、訪問看護事業所等の拡大を図るとともに、専門機関とのネットワークを構築する
 - ④ 地域の福祉・行政関係者に対する研修会やアウトリーチにより、小児等の在宅医療への理解を深め、医療と福祉の連携の促進を図る
 - ⑤ 関係機関と連携し、電話相談や訪問支援等により、小児等の養育・支離に對して様々なニーズに応じた支援を実施する
 - ⑥ 患者・家族や小児等の在宅医療を支える関係者に対して、相談窓口の設置や勉強会の実施などを通して、小児の在宅医療等に関する理解の促進や負担の軽減を図るための取り組みを行う

実施主体: 都道府県(再委託可)
※ 実施力所数: 8カ所程度
【配置する職員】
 ① 専任の職員
 ② 事業を担う医師
 ③ 地域の医療資源及び福祉資源に詳しい職員
 ④ 医療的ケアに関する家族支援や、退院支援などの経験を有する看護職員
 ⑤ 保健師(配置が望ましい)

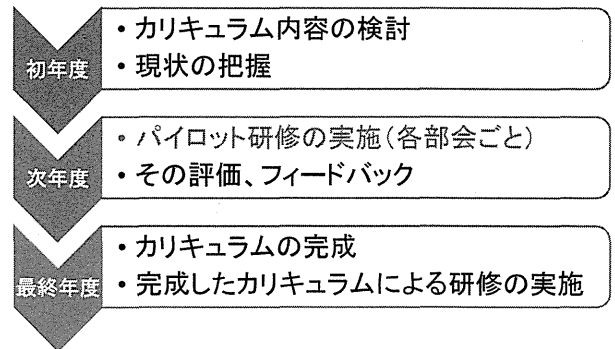
医療依存度の高い小児及び若年成人の重度心身障がい者への在宅医療における訪問看護師、理学療法士、訪問介護員の標準的支援技術の確立とその育成プログラムの作成のための研究

平成23年度～25年度障害者対策総合研究事業(身体・知的等障害分野)

研究班の構成



研究のロードマップ



家族看護、家族ケア

奈良間美保

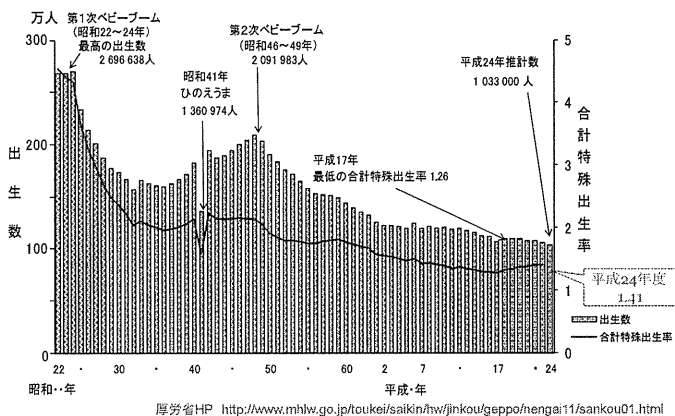
家族看護、看護ケア



看護部会 奈良間美保
(名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻)

子どもの在宅療養の背景

図1 出生数及び合計特殊出生率の年次推移

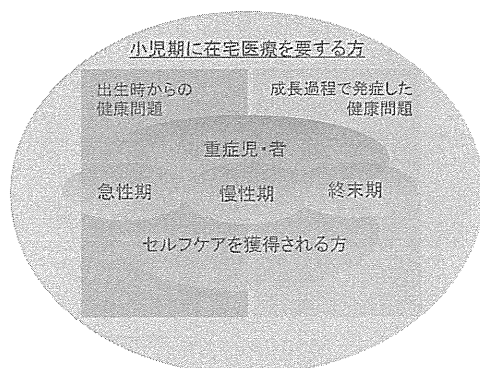


厚生省HP <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/hengai11/sankou01.html>

18歳未満の在宅身体障がい児数

	総数	障害の程度 1級 (%)	障害の程度 2級 (%)
昭和45年10月('70)	93,800	13,000 (13.9)	18,300 (19.5)
平成3年11月('91)	81,000	32,000 (39.5)	16,500 (20.4)
平成13年6月('01)	81,900	31,100 (38.0)	21,200 (25.9)
平成18年7月('06)	93,100	46,100 (49.5)	15,200 (16.3)

小児在宅医療の対象となる方？



周産期医療の状況

